

## 第 34 回東北動物実験研究会の御礼

拝啓 紅葉の候 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

去る 令和 5 年 10 月 21 日 (土) に福島市「コラッセふくしま」で開催されました第 34 回東北動物実験研究会にご参加いただきまして誠にありがとうございました。

この度の本会における講演会は第 57 回日本実験動物技術者協会総会 (福島大会) の会期中にシンポジウム 3 として執り行われ、テーマを「我が国における微生物モニタリング検査の将来像」と題し、3 名の専門家の先生にご講演をいただきました。お陰さまで活発な意見交換がされ、盛会のうちに終えることができましたこと、これも会員の皆様のご支援・ご協力の賜物と感謝申し上げます。

また、役員会、研究会総会、講演会の会場準備や当日のお世話など、第 57 回日本実験動物技術者協会総会 (福島大会) の石橋崇大会長はじめ大会スタッフの皆様、日本実験動物技術者協会東北支部、奥羽支部の皆様にも多大なるご協力をいただきました。此処に厚く御礼申し上げます。

シンポジウムでは 185 名 (研究会会員 41 名、非会員 144 名) と非常に多くの方々の参加を得ました。これも今後の実験動物の微生物学的品質をどのように担保するか、これからの微生物モニタリング検査の手法や方向性をどう考えるべきか等、実験動物・動物実験に係る研究者や技術者の関心の高さと感じ、開催担当として大変嬉しく感じているところであります。

今後とも今まで以上に東北動物実験研究会にご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆々様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げ、略儀ながら御礼のご挨拶とさせていただきます。

敬具

令和 5 年 10 月吉日

第 34 回東北動物実験研究会実行委員会  
委員長 伊藤 恒賢  
第 34 回東北動物実験研究会実行委員会  
委員一同